

# インドネシア国における都市・地域計画プロジェクト

## 都市地域開発部のインドネシアにおける業務

都市地域開発部では、現在インドネシア国において、国際協力機構（JICA）の以下の業務を2件実施している。

- 「インドネシア国ジャカルタ首都圏都市交通政策統合プロジェクトフェーズ3」（2022年3月～2025年6月）
- 「インドネシア国パティンバン港周辺におけるレバナ地域開発プロジェクト」（2024年4月～2026年4月）

### ジャカルタ首都圏とレバナ地域



図 ジャカルタ首都圏とレバナ地域の位置

## 業務の背景

ジャカルタ首都圏都市交通政策統合プロジェクトフェーズ3（JUTPI3）では、公共交通指向型開発（Transit-Oriented Development：TOD）に着目し、公共交通と周辺地域の一体的整備を促進している。インドネシア政府は交通結節点強化や駅周辺整備の必要性から、TODのガイドラインを策定しているが、実施手法の検討が進んでいない。TOD実現の推進には、関係する都市計画や交通計画、開発事業者等との多様な関係者間の調整が不可欠であるが、ジャカルタ首都圏における調整・連携メカニズムが充分機能していないことが課題となっ

ている。

こうした状況を踏まえ、インドネシア政府は、MRT 等を中心とした公共交通指向型のまちづくりを推進すべく、TOD にかかる実施能力強化を目的として、日本政府に対し技術協力事業の要請を行った。本業務は、ジャカルタ首都圏における JICA の都市交通分野協力を基に TOD 推進を支援するものである。

他方、パティンバン港周辺におけるレバナ地域開発プロジェクトが対象とするレバナ地域は、2020 年に州令（知事規則 No. 84/2020）によりレバナ地域開発計画は施行され、2021 年には大統領令（大統領規則 No. 87/2021）により国家戦略プロジェクトに指定された後、2023 年に州令（知事規則 No. 14/2023）により改訂された。その結果、新しい経済成長センターとして当地域の地域開発の機運が高まっている。

レバナ地域スバン県のパティンバン港は円借款にて整備中であるが、すでに一部完成し、本邦企業出資の運営会社が同港の自動車ターミナルを運営している。同港の競争力強化のためには、ジャカルタ首都圏やレバナ地域内の連結性強化に加えて、域内での産業拠点開発が重要になる。レバナ地域開発マスタープラン（以下、レバナ MP）では、パティンバン港周辺だけでなく、東側のクルタジャティ国際空港やチレボン市も重要な地域拠点に指定されている。他方で、レバナ MP は、地域全体のグランドデザインやプロジェクトの優先順位付けを欠き、パティンバン港とのシナジーを考慮した戦略的な地域開発計画や優先開発プロジェクトの選定等が必要である。

レバナ地域開発プロジェクトは、インドネシア国の経済成長戦略と整合性を取りながら、当地域における産業開発計画とインフラ開発計画が一体となった地域開発計画の改訂や利用を支援し、開発に向けた関連省庁など実施機関の役割の明確化、及び全体計画の整合性を担保する体制の構築を通して、当地域及びインドネシアの持続的な経済成長の実現に資するものである。

## 業務概要

JUTPI3 は、都市計画・都市開発を主とする業務、レバナ地域開発プロジェクトは地域開発計画の業務である。

JUTPI3 とレバナ地域開発プロジェクトのそれぞれの業務概要は以下の通りである。

### JUTPI3

ジャカルタ首都圏の公共交通システムを基盤としたまちづくりが推進されることによって、公共交通指向型開発にかかる中央政府、地方政府の実施能力が強化されることを目的に実施するもの。本業務により期待される成果を以下にあげる。

- 公共交通指向型都市の開発方針が策定される
- 公共交通指向型の街づくりに向けた調整メカニズムの能力が強化される
- パイロットサイトの開発計画が策定される

## レバナ地域開発プロジェクト

レバナ地域開発にかかる西ジャワ州プロジェクトマネジメントオフィス・レバナ地域管理局 (Rebana Metropolitan Management Authority: RMMA) をはじめとする関係機関の体制・実施能力が強化されることを目的に実施する。本業務により期待される成果をいかにあげる。

- レバナ地域総合開発計画のレビュー、優先事業選定
- レバナ地域総合開発優先事業の実施促進のための体制が強化される
- レバナ地域での優先事業の具体的計画策定が進められる

## **インターンシップ研修内容**

これら 2 件の都市・地域計画の両業務に現地で直接携わっていただくことを通じて、開発コンサルタント、特に都市地域計画の専門家の業務への理解を深めると共に、海外コンサルタントとして、海外で仕事をすることを体験してもらうことを目的とする。

具体的に以下のような業務内容を想定している。

### 共通

- (1) プロジェクトマネジメント業務の補助：それぞれのプロジェクト事務所にいる専門家、現地スタッフと共に作業し、プロジェクトを円滑に進めるためのマネジメント業務を支援する。
- (2) ワークショップや会議の準備補助：計画案について現地カウンターパート（政府職員）やその他ステークホルダーと協議するための会議を実施する際には、プレゼンテーション資料の作成や会議運営のために必要な準備を支援する。
- (3) 各種会議参加

### JUTPI3

- (1) ジャカルタ首都圏で選定されたパイロットサイト 3 か所における TOD 関連計画策定補助：パイロットサイトにおける将来空間構造を基に既存の土地利用計画への提案事項の検討等

## レバナ地域開発プロジェクト

- (1) 既存のレバナ MP を、レバナ地域がインドネシアの重要な産業拠点として位置づけ、改訂 MP を策定する業務の補助
- (2) レバナ地域における優先事業の選定の検討補助

## **対象者**

都市・地域計画全般を専攻している、都市地域計画策定ができる職業に就きたいと考えている修士 1 年生

## 実施時期

8月中旬から9月下旬までの期間で2週間程度（具体的な期間と時期については応相談）

## 募集人数

1～2名



JUTPI3 のプロジェクトオフィスにおける会議の様子



JUTPI3 の主要現地スタッフ